

## 『水鳥が鳴く川辺の丘』

山根 俊郎

### 1. 孫夕友の作詞活動

作曲家孫夕友(ツ・ソギョ 1920-)は、先号に紹介した『夢の中の愛』(孫夕友詞・外国曲【中国曲】)の創作に続き、1955年『水鳥が鳴く川辺の丘』(ムルセウソ 칸오토크・물새우는 강언덕 孫夕友詞・朴是春曲・白雪姫唄・ユニバーサルレコード)を作詞して、まず作詞家として有名になった。

還都以後、孫夕友はソウル南山洞に住む有名な作曲家朴是春(パク・シチュン 1913-1996)の近所に住み、コンビを組み、朴是春の曲に作詞をするようになった。

作曲家朴是春は、その前年 1954 年 9 月にユニバーサルレコードを立ち上げて、歌謡皇帝南仁樹(ナム・インス)が歌った『離別の釜山停車場』(이별의 부산정거장 胡童児=俞湖詞・朴是春曲・南仁樹唄)と新人の清純派女性歌手白雪姫(ペク・ソルビ)が歌う『春の日は行く』(봄날은 간다 孫露源詞・朴是春曲・白雪姫唄)が空前の大ヒットをした。孫夕友は、作曲家朴是春から仕事を貰い、清廉なイメージの白雪姫の第2弾の『水鳥が鳴く川辺の丘』を成功させたのである。

### 2. 映画挿入歌『水鳥が鳴く川辺の丘』

そもそもこの歌は、映画挿入歌であった。映画「久遠の愛情」(クウォネ エジヨン 구원의애정)について「韓国映画叢書」(韓国映画振興組合刊・1972年発行・非売品)P329から引用する。

「久遠の愛情」監督：閔慶植、出演：①尹一峰(ユン・イルボン・男)、②羅愛心(ナ・エム・女)、③成笑民、④秋夕陽。音楽：金東振(キム・ドンジン)→主題歌は、越南した歌曲作曲家である金東振が作曲した。1955.5.12 封切。興行成績：記述なし。→普通？

あらすじ：一峰と愛心は恋人であった。6・25 事変で一峰は軍隊に入隊する。その後、彼の戦死の通知が舞い込む。失意の愛心は毎日、一峰を考えていた。昔、彼と愛をささやいた川辺を彷徨う。そんなある日、

死んだと思っていた一峰が負傷した身体でその川辺に現れる。二人は再会の歓喜に浸る。映画では主演女優の羅愛心が『水鳥が鳴く川辺の丘』を歌った。歌詞から若い恋人が仲睦まじく川辺をデートする光景が思い浮かべられるであろう！



白雪姫

### 3. 歌手白雪姫の芸能人ファミリー

女性歌手白雪姫の情報について、私が「岩波世界人名大辞典」(2013 年発行)P2516 に記述したものを掲げる。白雪姫(ペク・ソルビ・백설희) 本名：金喜淑、1927.1.29-2010.5.5 ソウル出生。1942 年 OK 音楽舞踊研究所の研究生になり音楽と舞踊を学び 1944 年朝鮮楽劇団の中国公演の時から正式に舞台に立った。解放後、新星楽劇団、K. P. K 楽団で活躍をした。朝鮮戦争中には軍芸隊の慰問公演。1954 年にユニバーサルレコードから『春の日は行く』をヒットさせた。他に『アメリカチャイナタウン』(54 年孫露源詞・朴是春曲)のヒット曲がある。夫は舞台俳優の黄海(ファン・ヘ・本名 全弘瑯 1920-2005)であり、息子は歌手の全永祿(チ



黄海

ョン・ヨンノク 1954.3.26-)、孫娘は女性グループテアラのチョン・ポラム(전보람 1986.3.22-)。2010.5.5 に高血圧の合併症により京畿道広州の病院で死亡。享年 83 歳 2010 年演芸芸術賞特別功労賞を受賞。



全永祿



チョン・ポラム

ユニバーサルレコードのレコード番号 『曲名』 作詞・作曲・歌手 ☆=ヒット曲。

P1029-A 面	『日陰に咲く花』(그늘에 피는 꽃) 高明基詞・朴是春曲・白雪姫唄。伴奏 ユニバーサル軽音楽団
P1030-B 面 ☆	『水鳥鳴く 川の丘』(물새우는 강언덕) 孫夕友詞・朴是春曲・白雪姫唄。伴奏 ユニバーサル軽音楽団 映画挿入歌。映画「久遠の愛情」(クウォネ エジヨン 구원의애정) 1955.5.12 封切。映画では主演女優の羅愛心が歌った。

# 『水鳥が鳴く川辺の丘』

## 물새우는 강언덕

남자: F · 여자: C

Rumba

손석우 작사  
박시춘 작곡  
백설희 노래

물 새 —

우 — 는 — 고 — 요 — 한 강 언 덕 에 —

— 그 대 와 — 돌 — 이 서 — 부 — 르 — 는

사 랑 — 노 래 — 홀 러 가 — 는 저 강 — 물 —

— 가 는 곳 이 그 어 디 노 — 조 각 배 에

사 랑 신 고 — 행 복 찾 아 가 지 요 —

— 물 새 — 우 — 는 — 고 — 요 — 한

강 언 덕 에 — 그 대 와 — 돌 — 이 서 —

— 부 — 르 — 는 사 랑 — 노 래 — 홀 러

coda

D.S.

\* 水鳥が鳴く静かな川辺の丘で  
あなたと二人で歌う愛の歌  
流れゆくあの川の水の ↗

↗ 行先はどこへ  
小舟に愛を乗せて  
幸せ探しにいきましょう (終わり)